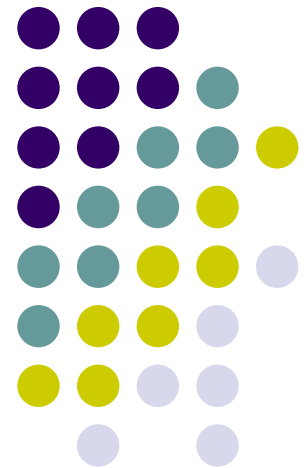


平成30年3月期第2四半期累計  
決算説明資料

大村紙業株式会社

東京証券取引所  
JASDAQ(スタンダード):3953





# 目次

- 会社概要 ……3
- 事業の状況 ……4
- 業績概要 ……5
- 品種別売上高及び生産実績 ……7
- 今後の見通し ……8
- 売上高および経常利益の見通し ……9
- 品種別売上高の見通し ……10
- 免責事項 ……11



# 会社概要

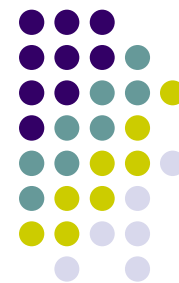
- 社 名 : 大村紙業株式会社
- 本 社 所 在 地 : 神奈川県茅ヶ崎市甘沼163-1
- 代 表 者 : 大村日出雄
- 設 立 : 1965年(昭和40年)3月17日
- 資 本 金 : 554,000千円
- 発行済株式総数 : 4,884千株
- 事 業 内 容 : 段ボール(シート・ケース・他)の製造販売  
ラベル製品の製造販売  
副資材商品の販売  
デザイン・ディスプレイ関係の請負
- 事業部および営業所  
: 湘南・東北・大阪・栃木・静岡・三重・茨城・  
仙台・京都・レーベル栃木・埼玉・千葉・レーベル埼玉・  
会津・レーベル湘南・レーベル三重
- 研 究 所 : 包装設計デザイン研究所



# 事業の状況

- 当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀による金融緩和を背景に、企業業績は緩やかな回復基調になっているものの、個人所得の伸び悩み等により景気回復の実感が乏しい結果になっております。また、米国の景気は堅調なもの、欧州及び中国の政治・経済の動向によっては、景気の先行きに不透明感も予想されます。
- 生産量につきましては、段ボールシート32百万㎡(前年同四半期比1.9%増)、段ボールケース19百万㎡(前年同四半期比0.8%増)となりました。
- 当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,504百万円(前年同四半期比1.1%増)となりました。利益面におきましては、経常利益208百万円(前年同四半期比12.2%増)、四半期純利益134百万円(前年同四半期比13.0%増)となりました。
- コーポレート・ガバナンスの取り組みについては、直近の有価証券報告書に記載しておりますのでご覧下さい。また、コーポレート・ガバナンス報告書は東京証券取引所ホームページから検索しご覧いただくことができます。

# 平成30年3月期第2四半期累計 業績概要①



売上高2,504百万円(前年同四半期比1.1%増)となりました。利益面におきましては、経常利益208百万円(前年同四半期比12.2%増)、四半期純利益134百万円(前年同四半期比13.0%増)となりました。

(単位:百万円)

	当第2四半期累計期間 (平成29年4月～9月)	前第2四半期累計期間 (平成28年4月～9月)	前年同四半期比
売上高	2,504	2,476	1.1%
営業利益	206	184	11.9%
経常利益	208	185	12.2%
四半期純利益	134	119	13.0%



## 業績概要②

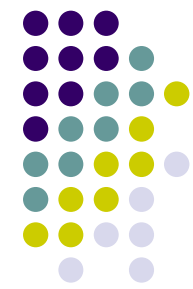
当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ90百万円増加し、7,302百万円となりました。これは主に現金及び預金や売上債権が増加し、有形固定資産が減少したことによるものであります。負債は、前事業年度末に比べ3百万円増加し、2,172百万円となりました。その結果、純資産は5,129百万円となりました。

(単位:千円)

資産の部	当期末 (平成29年9月末)	前期末 (平成29年3月末)
流動資産	4,753,384	4,623,531
現金及び預金	3,199,640	3,130,122
受取手形	516,109	501,180
売掛金	696,879	676,874
たな卸資産	292,853	266,399
その他流動資産	47,901	48,954
固定資産	2,549,263	2,588,453
有形固定資産	2,201,591	2,238,379
無形固定資産	13,946	15,409
投資その他の資産	333,724	334,664
資産合計	7,302,647	7,211,985

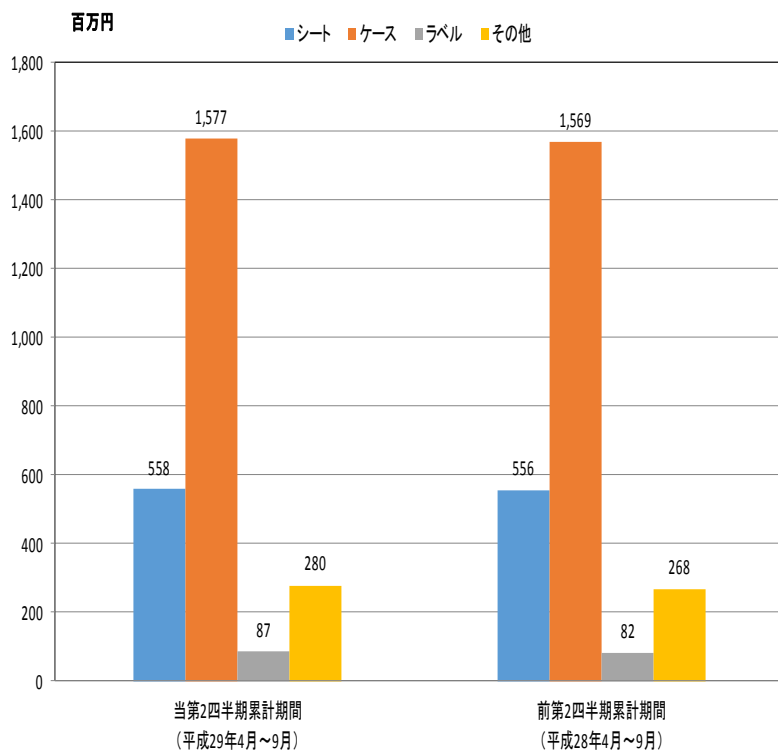
(単位:千円)

負債・純資産の部	当期末 (平成29年9月末)	前期末 (平成29年3月末)
流動負債	1,486,881	1,455,511
支払手形	919,510	877,066
買掛金	195,145	197,159
未払法人税等	82,418	103,080
その他の流動負債	289,808	278,205
固定負債	685,820	713,389
退職給付引当金	147,873	154,296
役員退職慰労引当金	406,387	401,405
その他	131,560	157,687
負債合計	2,172,702	2,168,901
純資産合計	5,129,944	5,043,083
負債・純資産合計	7,302,647	7,211,985

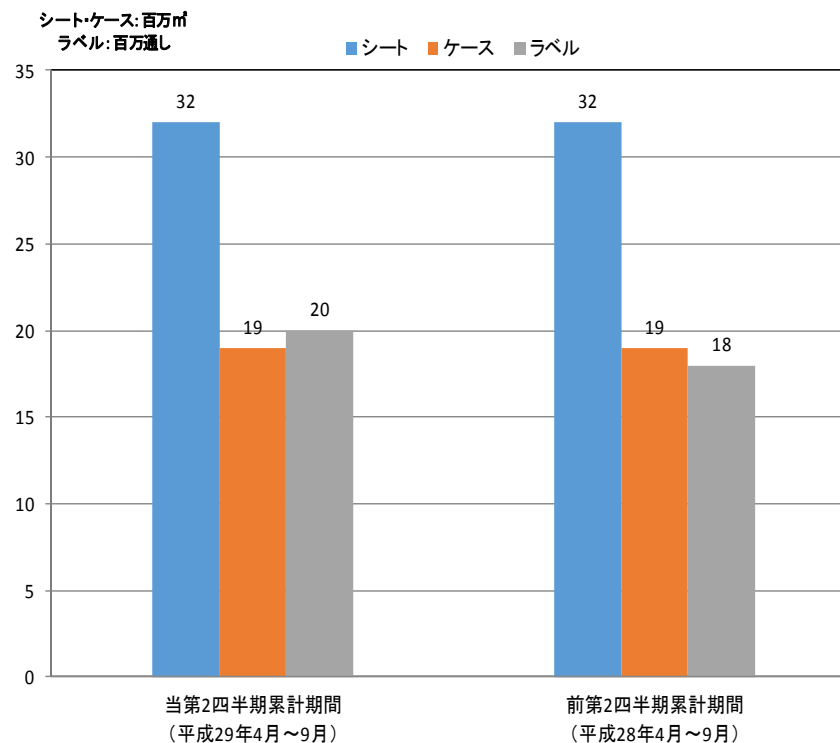


# 品種別売上高及び生産実績

シート・ケース・ラベル・その他の全区分で  
売上増加となりました。



シート・ケース・ラベルの全区分で  
生産増となりました。





# 今後の見通し

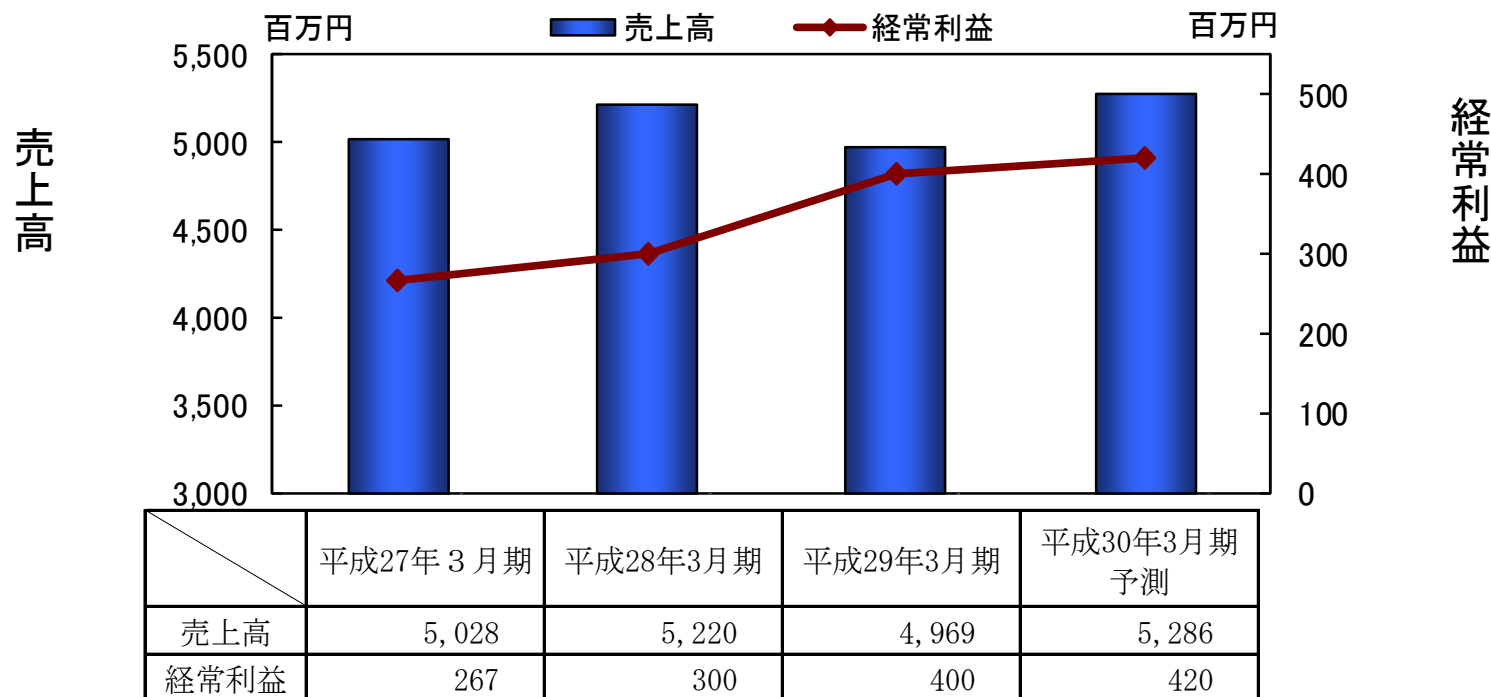
- 平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に発表しました「平成29年3月期 決算短信[日本基準](非連結)」に記載された数値から変更はありません。
- 利益配分の方針は、安定的な経営基盤確立のための内部留保の充実と、安定配当の維持を基本としております。内部留保金につきましては、業績の安定に向けた財務体質の強化、生産設備の増強による生産性の向上及び販売体制充実のため有効活用する方針であります。

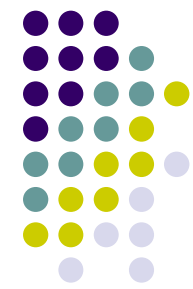




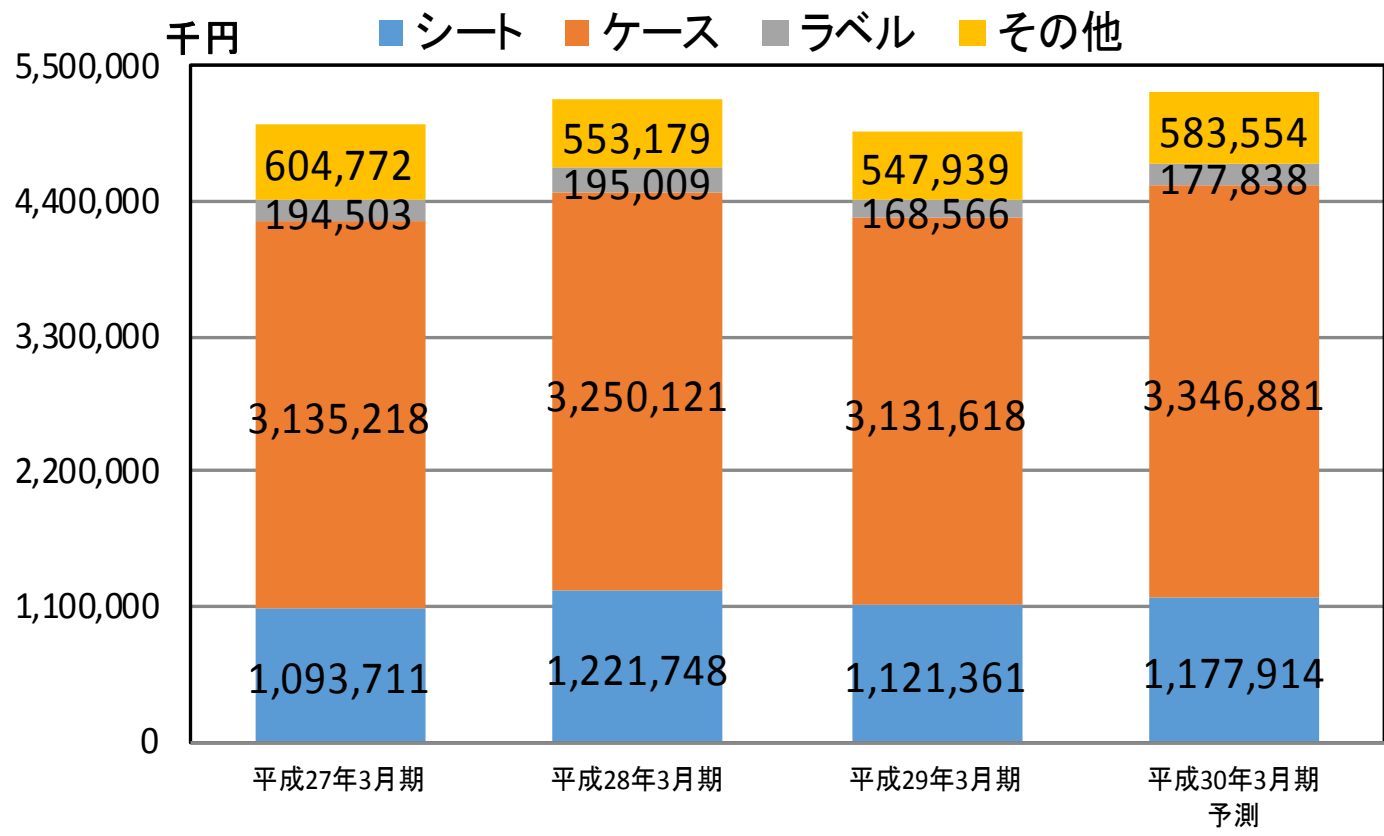
# 売上高および経常利益の見通し

※売上高5,286百万円(前期比6.4%増)、営業利益422百万円(同6.7%増)、経常利益420百万円(同4.9%増)及び当期純利益260百万円(同5.4%増)を計画しております。





# 品種別売上高の見通し





## 免責事項

- 当資料に記載されている情報のうち当社の計画、見通し、戦略、確信などの歴史的事実でないものは、将来の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。
- 当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 当資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りなどによって生じた問題などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- 当資料には大村紙業の将来についての計画・戦略・業務に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、市場の需給動向、製紙業界における厳しい競争、経済のファンダメンタルズ、等々に関するリスクや不確実性を際限なく含んでいます。それゆえ、実際の業績・達成度は当社の見込みとは異なるかもしれないことを予めご承知おきください。